

丸山美知代教授 略歴 主要著書・論文目録

略歴

- 1949年1月 奈良県大和高田市に生まれる。
1961年3月 大和高田市高田小学校卒業
1964年3月 大和高田市高田中学校卒業
1967年3月 奈良県立畝傍高等学校卒業
1971年3月 奈良女子大学文学部卒業
1971年4月 奈良県吉野郡天川村立洞川中学校教諭（1972年3月まで）
1974年3月 奈良女子大学文学研究科英語・英米文学専攻修了
1974年4月 奈良女子大学教務補佐員（1976年3月まで）
1976年4月 平安女学院短期大学英文科専任講師（1980年3月まで）
1980年4月 平安女学院短期大学英文科助教授（1987年3月まで）
1987年4月 立命館大学文学部英米文学専攻助教授
1991年4月 文学部学生主事（1992年3月まで）
1993年4月 立命館大学文学部英米文学専攻教授
1993年10月 アマスト大学客員研究員（1994年9月まで）
1997年4月 文学部副学部長（1998年3月まで）
2004年10月 ハーヴァード大学英語・英米文学科客員研究員（2005年3月まで）
2005年4月 大学協議委員（2006年3月まで）
2012年4月 立命館大学文学部国際文化学域・英米文学専攻教授
2014年3月 立命館大学定年退職

所属学会（委員）：

日本英文学会（評議員）

日本アメリカ文学会関西支部（事務局幹事、運営委員、評議員）、『関西アメリカ文学』（編集委員）

日本アメリカ文学会『アメリカ文学研究』（編集委員）

日本ナボコフ協会（運営委員）

ソール・ベロー学会

立命館英米文学会（会長、編集委員、運営委員）ほか

I 著書

共著『アメリカ文学：問題と追求』（山口書店、1979年4月）

共著『若き回想者の肖像—ナボコフの「チョーブの帰還」再考』（アポロン社、1996年12月）

共著「狂女が読むテキスト：シャーロット・パーキンス・ギルマンの『黄色い壁紙』」（英宝社、

2000年11月)

共著『アメリカ文学とニューオーリンズ』（弓鷹書房、2001年10月）

共著『アメリカ文学における「古い」の政治学』（松籟社、2012年3月）

II 翻訳

共訳『オルダス・ハクスリー『ルーダンの悪魔』（人文書院、1989年10月）

共訳『アメリカの分裂』（晶文社、1990年3月）

翻訳「ジョイス・A・バークマン著『バイオグラフィー・女たちの世紀 知られざるオリヴ・シュライナー』（晶文社、1992年12月）

共訳『コロンビア米文学史』（山口書店、1997年1月）

翻訳『書き直すナボコフ、読み直すナボコフ』（研究社、2011年6月）

III 論文

単著「『ライ麦畑の捕手』考察—ホールデンの内面変遷を中心に」（『奈良女子大学英語・英米文学論文集』1号、1972年12月）

単著「Saul Bellow: *Herzog* に関する一考察—三人称語りと喜劇の精神」（『英学』9号、1977年11月）

単著「Bernard Malamud の小説—展覧会の絵（1）」（『英学』10号、1978年10月）

単著「On *The Sea, The Sea* by Iris Murdoch<Prospero abjured magic but never drowned his book>」（『平安女学院短期大学紀要』11号、1979年10月）

単著「Bernard Malamud の小説—展覧会の絵（2）」（『英学』11号、1979年11月）

単著「都市小説家としての Saul Bellow: New York と Chicago」（『平安女学院短期大学紀要』14号）（1982年6月）

単著「*The Adventures of Augie March*（1）新しいピカロの求める運命とは」（『英学』14号、1982年11月）

単著「Saul Bellow: *The Adventures of Augie March*（2）新しいピカロの求める運命とは」（『英学』16号、1984年5月）

単著「Saul Bellow: *The Adventures of Augie March*（3）新しいピカロの求める運命とは」（『英学』17号、1985年1月）

単著「Saul Bellow's Mr. Sammler—The one-eyed philosopher in the country of the blind」（『平安女学院短期大学紀要』17号、1985年1月）

単著「ウラジーミル・ナボコフ『青白い炎』：創造行為の意味するもの」（『英学』18号、1986年3月）

単著「*The Aspern Papers* における＜曖昧＞の構造」（『英学』19号、1987年3月）

単著「Narrative Strategy and Its Failure in a Dramatized Confession—On the Former Section of Nabokov's *Lolita*」（『アメリカ文学研究』25号、1989年2月）

単著「ケイト・ショパンの『めざめ』にみる「独り」であることのアンビヴァレンス」（『清水汜教授退官記念論文集』あぼろん社、1991年3月）

単著「An Auditory Interpretation of Kate Chopin's *The Awakening*: Atonal Discords and Quiet

- Harmony」(『立命館文学』531号、1993年9月)
- 単著「I.P. ベルキンとは誰か?—プーシキンの散文ポエティクス確立にまつわる謎」(『立命館言語文化研究』5/6 合併号、1995年6月)
- 単著「The Spectral Happiness of Nabokov's Solitary Eye」(『立命館文学』551号、1997年11月)
- 単著「VはいかにしてNを葬ったのか—ウラジーミル・ナボコフの「フィアルタの春」における自伝的行為について」(『立命館文学』568号、2001年3月)
- 単著「Vladimir Nabokov の *Pnin*: うしろに影のある心臓と理想的に禿げた頭」(『立命館英米文学』12号、2003年1月)
- 単著「登場人物に拒否される語り手の謎—Vladimir Nabokov の *Pnin* の場合」(『立命館英米文学』15号、2006年1月)
- 単著「凸面鏡の中の自画像—Nabokov の *Pnin* における語りのメタファーとしての絵画」(『立命館文学』602号、2007年11月)
- 単著「共生する文学の快楽:『若草物語』に応答する『マーチ』」(『立命館文学』618号、2010年2月)
- 単著「Vladimir Nabokov の *Invitation to a Beheading* におけるインターテクスチュアル「アリス」」(『立命館文学』620号、2011年2月)

IV 書評ほか

- 報告「Saul Bellow: *Mr. Sammler's Planet*—What it gained and what it lost—」(京都アメリカ研究夏期セミナー専門家会議文学部門、1980年7月)
- 書評「富士川義之著『ナボコフ万華鏡』」(『英語青年』研究社、2001年10月)

V 主たる学会発表ほか

- 発表「*Herzog* における《距離感の錯覚》について」(日本アメリカ文学会第13回全国大会、1976年10月)
- 発表「Vladimir Nabokov の「ある芸術家の肖像」」(日本アメリカ文学会第17回全国大会、1980年10月)
- 発表およびモデレーター「80年代の Professorroman 三題:揺らぐ象牙の塔の住人たち(現代アメリカ小説とソール・ベローの死)」(日本アメリカ文学会関西支部第49回大会、2005年12月)